

「ことばと文学のまち松山」の発展に大きく貢献

早坂 暁さんに市栄誉賞を授与

地域のにぎわい創出、文化の振興に大きく貢献いただいた功績をたたえ、2月16日に北条ふるさと館(河野別府)で早坂暁さんに市栄誉賞を授与しました。

松山市栄誉賞表彰式



表彰状を受け取った早坂暁さんの妻・富田由起子さん(右)と野志市長。中央には笑顔の早坂さん



早坂 暁(本名・富田 祥資)さん

作家・脚本家。1929(昭和4)年8月11日～2017(平成29)年12月16日。温泉郡北条町(現松山市)生まれ。

新聞社編集長、いけばな評論家として活躍後、ドキュメンタリー制作やテレビドラマの脚本を書き始める。生涯に1,000本以上、テレビドラマ・映画の脚本や小説を執筆したといわれ、舞台脚本、演出も手掛けた。

多くの文化人、著名人とも交友があり、特に俳優・渥美清さんとは「アツミちゃん」「ギョウウさん」と呼び合う親友だった。

代表作に「花へんろ」「ダウンタウン・ヒーローズ」「夢千代日記」などがある。

保存してください。いつかまた お役に立ちます

早坂暁さんは出身地の旧北条市や松山市を舞台に「花へんろ」や「ダウンタウン・ヒーローズ」をはじめとした多くの作品を生み出し、地域のにぎわい創出と本市の全国的な周知に尽力いただきました。また、市制100周年を記念して創設した「坊っちゃん文学賞」では、創設から30年にわたり審査員を務め、文化の振興と「ことばと文学のまち松山」の発展に多大な貢献をいただきました。

表彰式には早坂さんの妻・富田由起子さんが出席。由起子さんは「生前から『ふるさとに褒めてもらうのが一番うれしい』と話していたので、本人も喜んでいと思う。今日は夫の遺骨を埋め込んだ指輪をしてきたので、確かに本人が賞をいただいた。きつと近くで笑っていることでしょうか」と思いを語りました。

野志市長は「早坂さんの文学への思いや姿勢、地元注がれた愛情を市の財産としてしっかりと受け継ぎ、『人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま』の実現につなげていきたい」と話しました。

4人目の市栄誉賞

市栄誉賞は、本市の公益などに尽くし、その寄与するところが特に著しい人や市民などの模範になる極めて優れた人に、その業績や功績をたたえ、市政功労者表彰の最高位です。

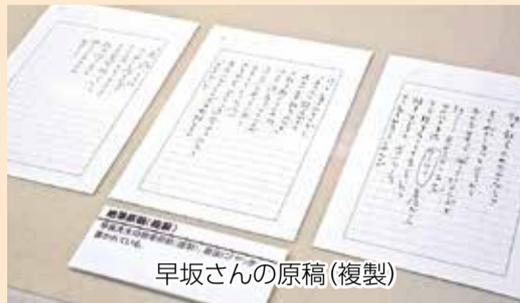
過去には、子規記念博物館初代館長の和田茂樹さん、元プロ野球選手・野球評論家の千葉茂さん(いづれも平成14年7月12日授

主な内容

- 特集 国民年金… 4・5面
- 第56回愛媛マラソン… 12面
- 犬の登録と狂犬病予防注射を… 3面
- 移動図書館『つばき号』巡回日程表… 6面
- 市民ガイド… 7～11面

発行：松山市役所
編集：総合政策部シティプロモーション推進課
毎月1日・15日
☎948-6705 ☎934-2578
http://www.city.matsuyama.ehime.jp/

357 市民参画まちづくり課 ☎948 6330
34 追悼展について文化・ことば課 ☎948 934
FAX 934 1287 6361



北条ふるさと館で追悼展 開催中

追悼展は9月30日(日)まで開催。▼入場無料。9月17日(月曜、祝日の翌日は休館。月曜日が祝日の場合は開館。

早坂さんの功績を広く紹介し、市民の皆さんに郷土への愛着や誇りを高めてもらおうと、同日から追悼展を開催。展示を見た由起子さんは「作品を通じてさまざまな人に夫のことを知ってもらい、その思いが次の世代へつなげていけば」と話しました。

与)、コラムニスト・子規記念博物館名誉館長の天野 祐吉さん(平成26年4月21日授与)を表彰しています。